平成25年度 ベトナム海外サイエンス研修 2013/12/17～22

スーパーサイエンスハイスクール事業「国際性の育成」の一環として、ベトナム海外サイエンス研修を実施しました。ベトナムでの研修は、3回目になりますが、SSHコースの生徒が授業の一部として訪問するのは、今回が初めてです。

この研修の目的は、次の７点です。

１　ハノイ工科大学と連携した、英語を媒介としたサイエンス研修と交流
（日越初の高大連携）

２　私立グエンシゥ高校とのサイエンス・文化交流

３　ホアビン省の少数民族ムオン族の村を訪問、循環型社会について学ぶ環境研修

４　タイビン省のホン河河口域のマングローブ林の調査と、エビの養殖や養魚場での研修や水質調査

５　鹿島建設（株）ベトナム営業所の協力を得て、海外ＯＤＡ事業や海外における日系企業の活動を学ぶキャリア研修

６　ベトナム教育訓練省の表敬訪問や、在ベトナム日本大使館の書記官からお話を聞くことで日本とベトナムの国レベルの関係を知る日越研修

７　積極的に異文化を理解し、情報を発信しようとする国際的な資質の養成

研　修　行　程

１　日　　程　　**平成25年12月17日（火）～12月22日（日），**
５泊６日（うち1泊 機内泊）

２　派 遣 団　　**高校２年生１１名　（男子８名，女子３名）**
引率教員　　**３名**　　**計１４名**

３　宿　　泊　　**全日　ハノイ　デウー ホテル泊**

４　日程詳細

☆ 12月17日(火)

交流先の高校グエンシゥ高校のバディ生徒との事前交流

ノイバイ空港到着後、ハノイ市内のホアンキエム湖に向かい、湖の中にある玉山祠で交流校グエンシゥ高校のバディ生徒１１名・同校教員３名と落ち合い、到着のあいさつとバディ交流をしました。

わずか、１時間３０分程度の１回目の交流でしたが、みんなすぐに打ち解けて、本校の生徒達は一生懸命英語でコミュニケーションをとろうとしていました。

☆ 12月18日(水)

ベトナム環境研修

ベトナム ホアビン省タンラック郡ナムソン村（ムオン族）を訪問しました。今年は、トン集落の青年団と交流しました。里山のフィールドワークと、有用植物の利用について学んだあと、みんなで集落内の水質検査を実施しました。

集落の方々との昼食会では、英語があまり通じないので苦労しましたが、言葉の壁を乗り越えて、大いに盛り上がりました。コーディネーターのＮＰＯ法人Seed to Table 理事長　伊能まゆ様、ありがとうございました。

☆ 12月19日(木)

３日目は、２班に分かれての別行動です。

＜A班（６名）＞

ハノイ工科大学とのサイエンス交流に向かいました。

１　ハノイ工科大学の先生からの英語サイエンス講義受講（各３０分）

(1)ベトナムにおける水の浄化について　(Ms. Van Dieu Anh 准教授)

(2)ベトナムの動植物について　(Ms. Hoang Thi Thu 准教授)

２　派遣生徒による英語プレゼンテーション（30分）とディスカッション

３　環境科学研究所訪問研修

Huynh Trung Hai 教授並びに Nguen Pham Hong Lien助教による研修

昼 食　今回の交流のコーディネーターDr. Lan先生と3名の講師の先生をご招待し、工科大学生１１名と共に昼食会を催しました。

４　午後は、まず教育訓練省を表敬訪問しました。

Officerの Ms. Nguyen Minh氏と面会し、懇談しました。

５　最後に、ベトナム民族博物館を訪れ、博物館員の先生から特にムオン族について事後研修をしていただきました。

☆ 12月19日(木)

＜B班（５名）＞

タイビン省ホン河の河口域での調査へ向かいました。

1　養魚場経営者　Mr. Pham Van Thuy さんにあいさつをして、４カ所の水質検査に入りました。（養魚池並びに周辺クリークの水質調査）

2　Thuy さんに養魚場の魚を捕って頂き、その魚名を調べるための体の計測を行いました。

3　昼食を頂いた後、ホン河河口デルタのフィールドワークとマングローブ林研修に出掛けました。河口域の水の採取も行い、東シナ海を見たときには、みんな感激しました。

☆ 12月20日(金)

全日 私立グエンシゥ高等学校でサイエンス交流 を行いました。以下のような時程で、交流が進みました。

09:30　学校着、交流開始

グエンシゥ側人数：２２名(教師６名＋生徒１６名)

交流内容　：

＊(生徒)グエンシゥ生徒による音楽パフォーマンス

＊(本校生徒)「よさこいソーラン」パフォーマンス

＊(先生)グエンシゥ校長先生との日越会談

＊ 本校生徒英語プレゼンテーション（約30分）と質疑応答

10:30　生徒同士の交流

＊ グエンシエウ生徒１６名との交流(ベトナム料理づくり)

＊ 教員同士の交流　（ミーティングルーム）

11:45　ランチ会食（ビッグホール）

12:30　睡眠時間（ベトナムの学校には、お昼寝タイムがあります！）

13:45　英語通常授業参加（講義は英語，45分授業）

14:35　「ハノイ文化」通常授業参加（講義はベトナム語，45分授業）

グエンシゥ生徒と各授業担当の先生の授業を一緒に受ける。

授業はベトナム語なので、グエンシエウの生徒が英語で本校生徒に説明。

16:15　学校での交流終了

16:30　 グエンシゥ高校生（教師２名＋生徒１１名）と市内散策

18:00　 夕食会（教師６名＋生徒１１名）

最後の夕食会ではみんなで名残を惜しみ、これからも連絡を取り合うことを約束しました。

☆ 12月21日(土)

午前中は、タンロン遺跡の見学研修です。奈良文化財研究所の全面協力による発掘現場とその成果を学びました。ベトナムがたどってきた歴史を知るよい機会になりました。

午後は、最後の研修、海外キャリア研修です。

１　第１部　日本政府のＯＤＡ事業ニャッタン橋見学研修

２　第２部　鹿島建設ハノイ事務所での講義

「ベトナムの日系企業活動と東南アジアにおける環境問題」

（１）鹿島建設ベトナム営業所　　副所長　佐藤 比呂樹 様

（２）鹿島建設ベトナム営業所　　所　長　高橋 徹 様

（３）鹿島建設土木管理本部　　技師長　阪東 浩造 様

（４）鹿島建設LIXIL Vietnam Project 所長 具志 勉 様（本校３期生）

３　第３部　夕食会　在ベトナム日本大使館一等書記官

岸田 秀 様（国土交通省）からのお話し

生徒達は、多くの方々からお声を掛けて頂き、また名刺を頂いたりして感激し、大変有意義な半日を過ごし、空港へと向かいました。